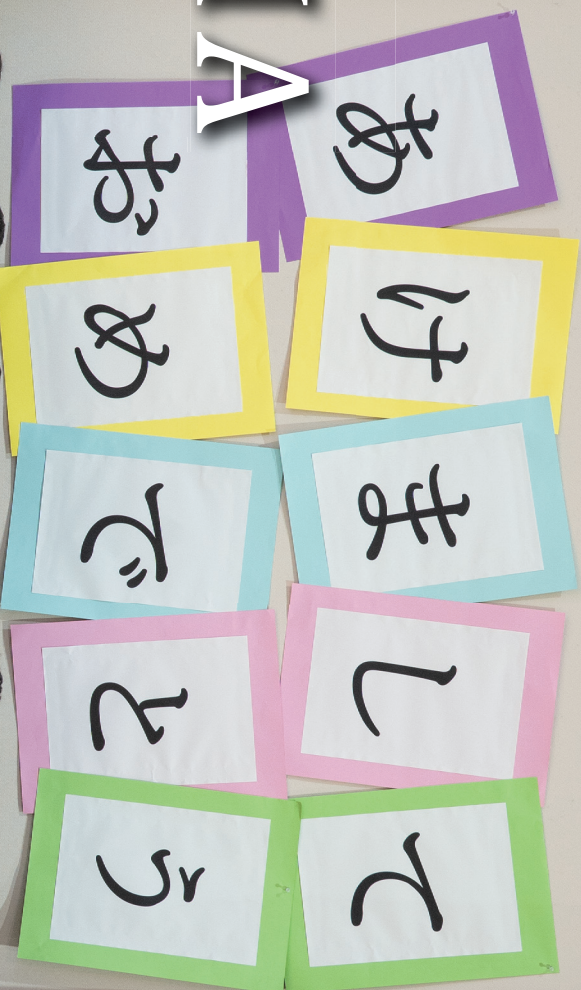


広報みはま

MIHAMMA



Jan. 2026

1

No.660



町民の皆さんに信頼される
「開かれた美浜町議会」
を目指して

美浜町議会議長
川畑 忠之

議会

町民の皆さんと共に
「幸せと誇り」「地域愛」
あふれる町へ

美浜町長
戸嶋 秀樹

行政



新

年明けましておめでとう
ございます。町民の皆さま
まにおかれましては、ご家族お
揃いで健やかに新年をお迎えに
なされましたことを、心よりお
祝い申し上げます。平素は、町
議会の活動に対し、深いご理解
と温かいご支援を賜り、厚くお
礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は大
阪・関西万博が開催され「い
のち輝く未来社会のデザイン」
を掲げて、世界各国から多く
の人々が集い、さまざまな分
野で未来の社会像が示された
1年でした。本町からも会場
に足を運ばれた方が多く、私
たちの暮らしや地域の将来を
考える大きなきっかけになっ
たものと感じております。

町におきましても、人口減少
や少子高齢化、地域経済の活
性化、防災、エネルギー政策等、
直面する課題は決して少なく
ありません。一方で、豊かな自

り、いずれも評価が高まって
います。今後も、活気あふれ
る観光拠点を目指すとともに、
持続可能な周遊滞在型観光の
推進に努めてまいります。

昨年、エネルギー基本計画
が見直され、新たな原子力政
策の下、立地地域の振興に向
けた仕組みが構築、長年の悲
願である美浜高島避難道路が
調査段階に入りました。

美浜発電所後継機設置にか
る可能性調査も始まりましたが、
安全を最優先に、町民皆さんの
理解と協力、安全安心の最大限
の確保、地域振興を「基軸」に
原子力と共生するまちづくりを
進めてまいります。

また近年、自然災害が激甚
化・頻発化しており「必ず来
る」との危機感を持ち、地域
防災力の強化、防災減災対策
に努めてまいります。

少子高齢化・人口減少は喫緊
の課題であります。若者世代向

然環境や原子力と共に歩んでき
た歴史、ローイングを通じた交
流、シナプスプロジェクト、に
ぎわいの創出等、この町ならで
はの強みと可能性も数多くあり
ます。こうした魅力を生かしな
がら「このまちに住んでよかつ
た」「これからも住み続けたい」
と実感できる美浜町をつくるこ
とが、我々議会にとっても大き
な使命であると考えています。

町議会では「開かれた議会」
を目指し、議会と語ろう会等
を通じて、町民の皆さまと直
接対話を重ねてまいりました。
また、美浜中学校生徒会執行
部が議場を活用する活動等、
新たな取り組みも始まってい
ます。次代を担う中学生が議
場という場に立ち、自らの言
葉で質疑を交わしてくれたこ
とは、我々議員にとっても大
変新鮮に感じられました。

さらに、議会の状況をより分
かりやすくお伝えするため、こ

け分譲住宅地の整備やきめ細や
かな子ども子育て支援等のほ
か、移住定住施策の促進、グルー
プホームや高齢者福祉施設の整
備検討等、住み慣れた美浜で安
心して暮らせる福祉施策の充実
に取り組んでまいります。

まちづくりの根幹は「ひと
づくり」です。人と人、地域
がつながる学びと挑戦・地域
愛を育む「みはまシナプスプ
ロジェクト」を柱に教育の振
興や地域の活動支援を通して、
美浜の明るい将来展望が開か
れるものと考えています。

本年も「幸せと誇り・夢と
希望・地域愛あふれる・美し
美浜」の実現を目指し、町政
の推進に努めてまいりますの
で、皆さまのご理解とご協力
をお願い申し上げます。「午」の如
く快走、心安らかな年となる
よう祈念し、年頭のご挨拶と
させていただきます。

れまでのMMネットの議会放送
に加え、インターネットでの映
像配信の取り組みを進めてお
り、時間や場所の制約を超えて、
多くの皆さまに議会の様子をご
覧いただける環境を整えること
で「議会活動の見える化」をさ
らに進めてまいります。

本年も町議会は、町民の皆さま
まの目線に立ち「チェック機
能」と「政策提案機能」をしつ
かりと果たしながら、公正で
透明性の高い議会運営に努め
てまいります。引き続き、皆
さまのご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さま
お一人お一人にとりまして、健
康で実り多い1年となりますこ
と、そして、ふるさと美浜が、
笑顔と温もりに満ちた町とし
て、ますます発展していきます
ことを心よりご祈念申し上げます。
新年のご挨拶いたします。

特集

湖と、人と、まちが漕ぎ出す

聖地が紡いだ、天皇杯10連覇の航跡

久々子湖の静寂を破り、湖面に響く一糸乱れぬオール之音。それは、絶対王者だけが奏でる勝利のシンフォニー。

前人未踏の国スボ競技別天皇杯10連覇は、いかにして成し遂げられたのか。これは単なるスポーツの記録ではない。半世紀の時をかけ、このまちのDNAに刻み込まれた情熱と絆の物語。さあ、最強の源流へ。

その魂の航跡を、目撃せよ――。

わたしの夢、語ります

山路 陽菜^{ひな}さん 美浜東小学校 6年 (太田)

自分だけの夢

私の将来の夢は、まだ決まっていないけれど、人に優しく、どんなことにも笑顔で頑張れる人になりたいです。そのように思ったのは、保育士さんやお店の店員さん等、さまざまな職場で働く人たちを見てきて、優しく笑顔で頑張っている姿に憧れたからです。

その中で、特に注目したのは、お店の店員の方たちです。いつでも笑顔で優しく接客する姿や、高齢者を気遣って重たい荷物を車まで運ぶ姿を見て、少し興味を持ち、こんな人になりたいなと思いました。

今、自分にできることを考えてみると、まず勉強や習い事を頑張ること、誰に対しても優しく接することだと思いました。私のできることから、一生懸命チャレンジし、なりたい自分になれるように頑張ります。



CONTENTS 目次 広報みはま2026年1月号

- 2 新年のご挨拶
- 4 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- 5 特集 湖と、人と、まちが漕ぎ出す
—— 聖地が紡いだ、天皇杯10連覇の航跡
- 14 まちウォッチング
第45回美浜町子ども会卓球大会 / 人權のつどい2025 他
- 16 住民税申告と所得税の確定申告は
2月16日から3月16日まで
- 17 みはまのまなび通信 Vol.7
- 18 情報BOX
道路の除雪作業にご協力ください / 美浜町新春のつどいを開催します 他
- 21 美浜発電所の状況について
- 22 すこやか放送局
- 23 ふるさと昔よもやま話164／文芸欄
- 24 ハートフル広場
はじめてバスデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 26 暮らしのカレンダー

- 表紙の写真 -



みずうみ保育園のくじら組の子どもたちです。

今年の干支にちなみ、午の顔のついたしめ縄を手に持ち、「あけましておめでとう」と新年のあいさつをしてくれました。

子どもたちが、新年も笑顔と元気に満ちた日々を送り、すくすくと成長していくことを楽しみにしています。



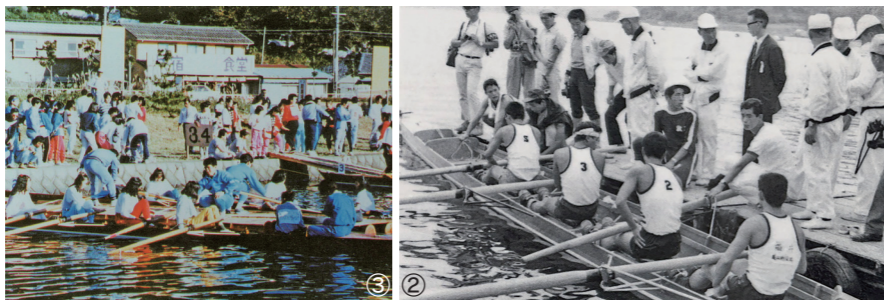
美浜町漕艇クルーとして第23回国民体育大会に出場した福井県ローイング協会よしろう副会長 田邊 義郎 さん (久々子)

国体に出場したことが
ボート人生の原点に

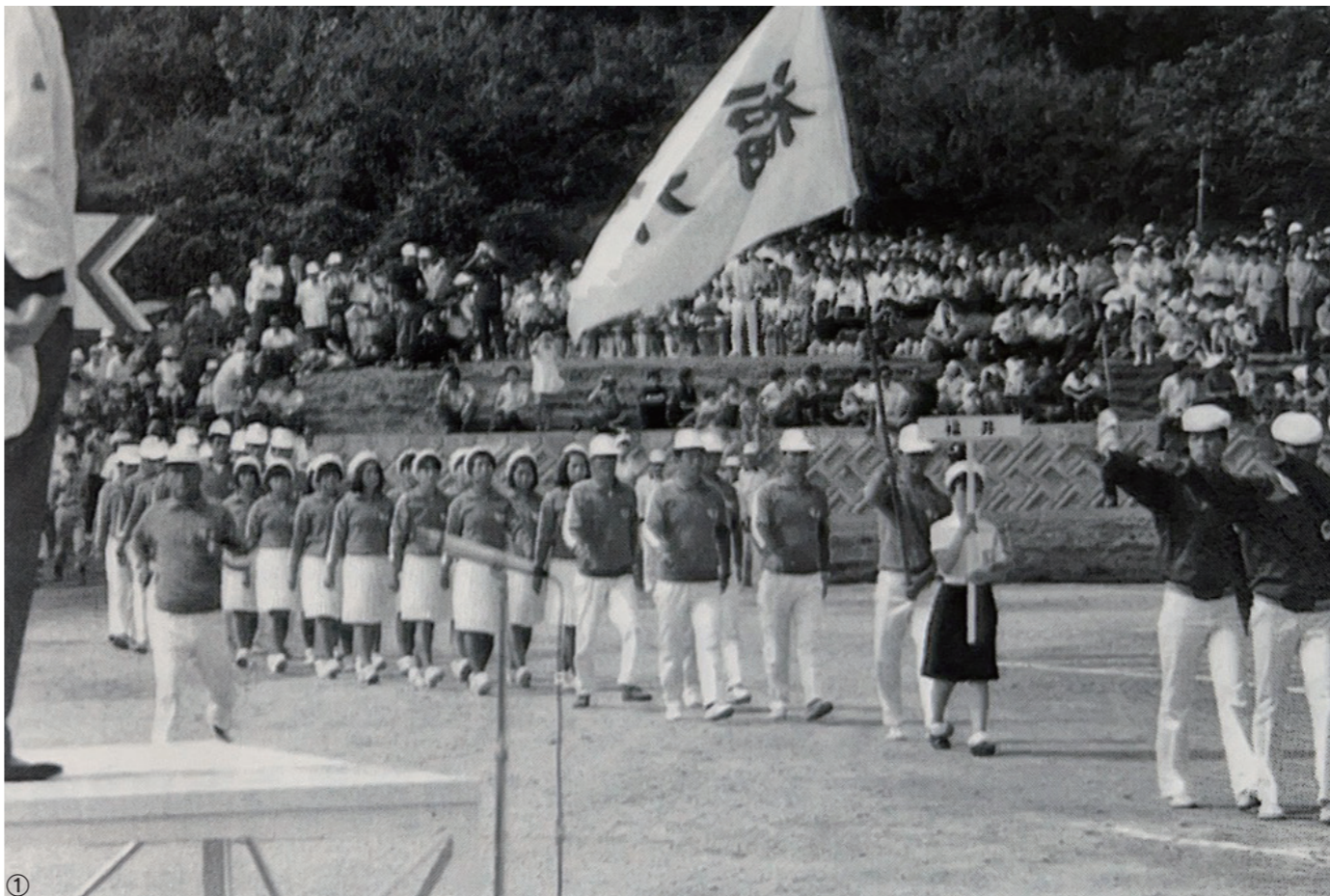
昭和43年の福井国体まで1年弱、急遽結成された美浜町漕艇クルーの一員として、ローイング競技に出場しました。

当時、西郷中学校に赴任された中江多津子(旧姓)教諭の指導の下、早瀬の浄妙寺で合宿を行いながら、朝日レガッタ等のレースを経験しました。しかし、にわか仕立てのクルーであり、本番では結果を残せずに終わりました。また、翌年の県内予選では小浜のクルーに破れ、残念ながらクルーは解散しましたが、当時の教育委員会職員の松井隆治氏から強い勧めもあり、松井監督と2人で競技を続けました。

その後、役場職員を中心に、美浜ローイングクラブを立ち上げ、レースや仲間意識を楽しみ、多くの仲間が継続して現在の競技運営に関わってくれていることや、10月の国民スポーツ大会では、競技別天皇杯10連覇を見届けることができたことは、大きな喜びでした。昭和43年の福井国体に出場したことが、私のボート人生の原点であることは間違いありません。



①第23回国民体育大会ローイング競技開始式(旧北小学校グラウンド・昭和43年)
②第23回国民体育大会ローイング競技に出場した美浜町漕艇クルー(早瀬)
③第1回美浜町民レガッタ出艇棧橋(早瀬)
④第1回美浜町民レガッタ開会式(中央公民館・昭和63年)



きっかけと町技への道 ローイングの聖地のはじまり

全国からローイングの聖地として注目されている美浜町。その始まりは、半世紀以上前に開催された一つの大会にさかのぼります。

◆第23回国民体育大会の開催

町とローイング競技の関係の始まりは、昭和43年9月に福井県で開催された「第23回国民体育大会」にさかのぼります。

同大会のローイング競技は、県の会場地選考委員会で美浜町が選ばれました。会場となった久々子湖は、漕艇場として自然環境に恵まれていましたが、国体コースとして認定を受ける必要があり、会場の整備等が必要でした。

このため、町は受入準備を整えるべく、昭和40年に「美浜町国体準備委員会」を立ち上げ、行政と町民が一丸となって整備を行い、大会当日を迎えました。

開始式では、当時の美浜町長で福井県漕艇協会会長(現在の福井県ローイング協会会長)だった綿田捨三

氏が「漕艇競技大会が水光るわが久々子湖で行われますことは美浜町民の最も光栄とし、喜びに堪えない。全国各地からお集りの方々に、1万3千町民心からご歓迎申し上げる」と歓迎のことばを述べ、計4日間にわたった競技を成功裏に終えました。

同大会まで福井県には、一般男子(現在の成年男子)のナックルフォアクルー(4人漕ぎクルー)がありませんでしたが、開催地としての責務と町でのローイング競技の普及を願い、町役場職員が中心となり、美浜町漕艇クルーが結成され、同種目に出場しました。

◆部活動・実業団の創設

昭和44年4月に、県立美方高校が開校すると同時に漕艇部が創設され、昭和61年には、ローイング競技を町技としてさらに盛り上げていこうという町の要請を受けた美浜中学校がボート部を創設しました。

さらに、昭和62年には、優秀な選手の県外流出を防ぎ、国民体育大会の成年男子強化等を目的として県漕艇協会の要請を受けた関西電力が美浜漕艇部を創設しました。

◆各種大会での成績と

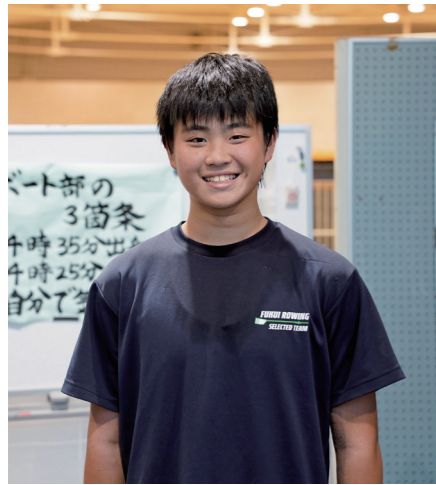
町技への道

昭和51年に佐賀県で開催された第31回国民体育大会で、着実に

力を付けていた福井県選手団は、ローイング競技で県勢初となる男女総合1位(天皇杯)、女子総合1位(皇后杯)を獲得しました。

昭和63年には、福井国体開催20周年とローイングをすべての町民が楽しめるスポーツにしていこうことを目的に、第1回美浜町民レガッタ大会が開催され、ローイング競技を分かりやすく解説したテキスト「ボートのススメ」を配布する等、町民の理解促進を図りました。

その後も町民レガッタは、時代の変化に合わせて工夫を凝らしながら現在まで続く町の一大イベントとして、町民のローイング競技への理解促進と普及に大きく貢献しています。



美浜中学校ボート部 男子キャプテン
はると
2年 石場 悠斗 さん (菅浜)

僕たちが強くなれるのは、 先生の熱い指導があるから

体験入部でエルゴメーターを漕いだことが楽しくてボート部に入部しました。県内の中学校でボート部があるのは、美浜中学校だけなので、ここでボートを漕げることがすごく嬉しいです。

僕たち美浜中学校ボート部が毎年強くなれるのは、久々子湖で練習ができることも一つですが、僕たちのことを考え、熱い指導をしてくれる顧問の先生のおかげだと思っています。これからも先生のご指導の下、各部員がレースを意識した練習に取り組み、夏の全中で男女総合優勝を目指します。



美浜中学校ボート部 女子キャプテン
ふうあ
2年 岡本 楓彩 さん (佐田)

ボート部に所属して強くなりました

ローイング選手である兄の影響で、私も漕ぎたいと興味を持ち、ボート部に入部しました。部活での練習やレースはとてもハードですが、やり遂げた時や漕ぎ切った時の達成感がすごいです。

ボート部に入って、やり遂げる力や誰にも負けないと思う強いメンタルが鍛えられ、新人戦でも最後まで漕ぎ抜き、優勝することができました。これからも、優勝を目指し、悔いが残らない最後まで漕ぎ切るレースができるよう、頑張りたいです。



①湖上練習前に技術動作を確認
②練習前後は生徒自ら、船の整備
③湖で練習ができない日は、校内にあるローイングマシンで体と心を鍛える④細かな動作まで確認してローイング⑤第43回全日本中学選手権競漕大会で優勝した美浜中学校ボート部



受け継がれる伝統と合言葉 一本でより遠くへ

ローイング競技が町技として根付いた原動力の一つに地元学生の活躍があります。特に、県内の中学校で唯一ボート部を有する美浜中学校は、町内出身選手の多くがローイング競技に取り組み礎となっています。

◆美浜中学校ボート部の航跡

美浜中学校のボート部が創設されたのは昭和61年5月。町技であるローイング競技にジュニア期から親しむ環境づくりや同競技を通じた町の活性化を目的に創設されました。

創設翌年から全国中学選手権競漕大会に出場し、これまで男女ともに幾度となく総合優勝を果たす等、輝かしい成績を収めています。

特に、平成11年からは、水上で艇を動かす感覚の優れた選手を育成することが高校でのスムーズな競技継続につながるという高校指導者の助言の下、シングルスカルのトレーニングが中心の練習スタイルを確立し、平成12・13年の全国中学選手権

競漕大会では、小柄な選手がシングルスカルで優勝を果たしています。

この頃から生徒たちは、1漕ぎ1漕ぎを大切にして競技に取り組むことを意味する「一本でより遠くへ」を合言葉に久々子湖で練習を重ね、時には中学生離れしたしなやかで力強いローイングで全国制覇を果たす等、全国に美浜中学校の名を轟かせました。

美浜中学校ボート部では、楽しくボートを漕ぐことの大切さや同競技を通じた人間育成に重きを置いた指導を発足当初から脈々と培い、高校進学後も同競技を続け活躍する選手を多く輩出しています。

ローイングを通して自分のやりたいことを

本校のボート部では、勝ち負けよりもローイングを楽しむこと、つらい時でも仲間と支え合って最後までやり遂げることを大切にしています。また、部活動は普段の学校生活をきちんと送ってこそその活動です。やるべきことはしっかりやる、地域の方々や町、久々子湖で一緒に練習をしている高校のボート部関係者等多くの人に支えられていること等選手に伝え、地域の方々から応援してもらえる人となるように挨拶や礼儀等の指導にも力を入

れています。

生徒たちには、ローイングを通して、心身を鍛えることはもちろん、自分がやりたいことに対して受け身にならず積極的にチャレンジし、自分が目指す目標を達成してもらいたいと思っています。そして、生徒たちの思いに対して背中を押すことができるようなサポートをし、達成する喜びを味わえるように今後も指導を行っていきたいと思っています。



美浜中学校ボート部
ひとふみ
顧問 東田 仁文 教諭



- ①「Attention! Go!!」の発艇号令で勢いよく飛び出すクルー（第10回・平成9年）
- ②見事入賞し、メダルをかけてもらう選手たち（第3回・平成2年）
- ③接戦の中盤、互いに譲らない各クルー（第29回・平成28年）
- ④30回目の開催を記念し、記念モニュメントを設置（第30回・平成29年）
- ⑤波で荒れるコースを懸命に漕ぐ選手たち（第19回・平成18年）
- ⑥息を合わせてボートを漕ぐ選手たち（第10回・平成9年）

未来に向かって Attention Go!!

◆競技人口の拡大と 地域の活性化

美浜町民レガッタは、ローイング競技を多くの町民に親しんでもらい、競技人口の拡大や町民同士の交流を図ることを目的として昭和63年に第1回大会が開催されました。

久々子湖では、昭和43年に開催された第23回国民体育大会以降、町民レガッタが開催されるまで、福井レガッタ等のさまざまな大会が開催されてきました。さらに、美浜中学校や美方高校のボート部の練習拠点と

なる等「ローイングの聖地」として認知されつつありましたが、町民の間ではローイング競技はボート部に所属する競技選手が行う特殊な競技と思われていました。

そこで、当時の美浜町長綿田光雄氏は、ローイング競技を町民の皆さんに親しんでもらい、全員が楽しめるイベントを開催したいと検討を重ね、第23回国民体育大会開催20周年を迎えた昭和63年10月に第1回大会の開催に至りました。

同大会では、各集落や町内の事業所から125クルー約650人の参加があり、ガッツマンやジェントルマン、レディー、ミックス、ファミリーの5種目で行われました。その後、平成18年には交流の部等の新たな部門を設けることで、年々参加クルーが増え、平成29年の第30回記念大会では、312クルー約1,800人が参加する国内最大級の市民参加型レガッタとなりました。

町民レガッタの開催により、町民にとってローイング競技がより身近なものとなり、競技人口や交流人口の拡大等、大きな役割を果たしています。

今年で38回を数えた美浜町民レガッタは、ローイング競技を通して地域と地域、地域と人、そして人と人とのつながりを強くする町の一大イベントへと成長しました。

- ①②レース間は、地域や職場の仲間たちと交流を深める楽しいひと時に（第24回・平成23年）
- ③朝日を受けながら、レースに臨む各クルー（第27回・平成26年）
- ④仮装してレースに出場し、大会を盛り上げる（第18回・平成17年）
- ⑤レース中に遊覧船が近くを走ることも（第20回・平成19年）

- ⑥完漕し、爽やかな笑顔を見せる選手たち（第25回・平成24年）
- ⑦レース中の出艇桟橋前は、大混雑（第38回・令和7年）
- ⑧応援してくれた観客に手を振る選手たち（第21回・平成20年）
- ⑨陸上から声援を送る観客たち（第25回・平成24年）



町に根付いたローイング文化を まちづくり・地域の活性化へ

昭和43年の福井国体でローイング競技が久々子湖で初めて開催され、57年が経ちました。今日まで、町技としてローイング文化が町に根付いたのは、競技の普及にご尽力いただいた関係者の皆さん、惜しみない努力を費やし、数々の功績を残された選手や指導者の皆さん、そして、町民の皆さんのご理解、ご協力があったからこそと、深く感謝いたします。

昭和63年から始まった美浜町民レガッタも、多くの町民の皆さんにご参加いただき、「ローイングの町美浜」を象徴する日本最大級の市民参加型レガッタとなりました。大会を通じて、広く町民の皆さんにローイングに親しんでもらうことで、競技の普及や地域の活性化につながっています。そして、紡いできたローイング文化に花が咲き、第79回国民スポーツ大会では、多くの本町関係選手が活躍し、天皇杯10連覇という前人未踏の金字塔を打ち立てることができました。この歴史的偉業は、選手たちや指導者の努力・活躍はもちろん、学校や企業、町民の皆さんが一丸となって成し遂げた成果だと考えています。

現在、関電ローイングセンターみはま（県立久々子湖漕艇場）では、国内最高峰の競技環境の整備に向け2,000mコースの延伸工事が進められており、町では完成を見据え、全日本や国際級大会を開催したいと考えています。町としては、引き続きローイング競技を通じて、交流人口の拡大や地域づくり・「ローイングの町美浜」のまちづくりに取り組んでいく所存でありますので、これまで以上のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

美浜町長 戸嶋 秀樹



①第79回国民スポーツ大会で天皇杯10連覇、皇后杯8連覇を達成した福井県選抜チーム（滋賀県・令和7年）②第73回国民体育大会で天皇杯5連覇、皇后杯3連覇を達成した福井県選抜チーム（福井県・平成30年）③第77回国民体育大会で天皇杯7連覇、皇后杯5連覇を達成した福井県選抜チーム（栃木県・令和4年）④第79回国民スポーツ大会ローイング競技の少年女子舵手つきクオドルプルで優勝した福井県選抜クルー⑤第73回国民体育大会ローイング競技の成年男子舵手つきフォアで優勝した福井県選抜クルー（福井県・平成30年）



前人未踏の偉業 競技別天皇杯10連覇

令和7年10月に、滋賀県で行われた第79回国民スポーツ大会ローイング競技の総合成績は、男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）に分けられ、競技得点と参加得点の合計が多い都道府県順に順位が決められます。

令和7年10月に、滋賀県で行われた第79回国民スポーツ大会ローイング競技の総合成績は、男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）に分けられ、競技得点と参加得点の合計が多い都道府県順に順位が決められます。

県は競技別天皇杯（男女総合）で平成26年の長崎国体から続く10連覇、皇后杯（女子総合）で平成28年の岩手国体から続く8連覇を達成しました。同競技では、町内在住者や出身者の活躍が目覚ましく、偉業達成に大きく貢献しています。

◆競技別天皇杯・皇后杯の 決定方法

国民スポーツ大会ローイング競技の総合成績は、男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）に分けられ、競技得点と参加得点の合計が多い都道府県順に順位が決められます。

競技得点は、種目別に配分が異なり、選手が1人で出場するシングルスカルは、1位が8点に対し、コックスを合わせて5人の選手が出場する舵手つきフォアと舵手つきクオドルプルは1位に40点が与えられます。このようにして獲得した競技

得点に、ブロック大会を含む本大会に参加した都道府県に与えられる参加得点10点を加算した合計得点で争われています。天皇杯と皇后杯を獲得するには、得点配分の高い種目で上位入賞することが重要となります。

福井県は、ほとんどの種目で上位入賞を収め、特に舵手つきフォアと舵手つきクオドルプルでは、中学時代から築き上げた水上で艇を動かす個々の感覚を結集したチームワークの良い漕ぎで、多くの得点を獲得しています。

◆全国の頂点に 立ち続けられる理由

ローイング競技で福井県勢が頂点に立ち続けられる理由は、久々子湖での練習環境と国スポで勝つために行われる高校等の垣根を超えたチーム編成にあります。県内すべての高校ボート部が、久々子湖を拠点に活動し、互いに連携を取り合うことで、競技レベルの底上げが図られ、強い選抜チームが持続し、成績を残し続けることができる要因の1つとなっています。

また、2つ目の要因として県勢クルーは、選手個人の身体能力や年間を通して行われるシングルスカルのタイム計測結果等を基に、各チームの指導者がミーティングを重ね、選ばれた選抜クルーであることです。少年の部（高校生）では、国スポ終了後から翌年の国スポに向け県内すべての高校ボート部が集まり、合同でシングルスカルのタイム計測や計画的な合宿、選考レースを経て選手を選抜し、

強化を図っています。

平成初期までは、単独校の弱点を他校の有力選手で補強する形でクルーが生まれ、短期間の猛練習で国スポに出場していました。しかし、人口の少ない福井県が県外の強豪に勝つため、チームの垣根を超えた選抜クルーの編成を始め、各校の指導者たちが練習方法を公開し、指導等の方向性を統一して選手の育成、強化を行い、県全体のレベルアップを図っています。

—総合成績決定方法—

天皇杯 対象種別	皇后杯 対象種別	種目	順位							
			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	舵手つきフォア 舵手つきクオドルプル	40	35	30	25	20	15	10	5
		ダブルスカル	24	21	18	15	12	9	6	3
		シングルスカル	8	7	6	5	4	3	2	1

↓啓発物品を配布するキャンペーン隊



**人権意識の向上を
人権週間街頭啓発キャンペーン**

12月4日に、第75回人権週間の街頭啓発キャンペーンの出発式が町役場で行われました。同キャンペーンは、キャンペーン隊が町内各所をまわり、人権の啓発活動を行うもので、人権週間の開始に合わせて毎年実施しています。キャンペーン隊は、出発式の後、企業や学校等を訪れ、啓発物品の配布や呼びかけを行っていました。

↓戸嶋町長(中央右)に目録を手渡す宇野会長(中央左)



**読書で児童たちの健全な成長を
児童用図書を寄贈**

12月5日に、敦賀ロータリークラブが町内の小学校に児童用図書合計84冊を寄贈しました。この贈呈は、スマートフォン等の普及により読書離れが深刻化している中で、読書の楽しさを知ってもらい、読書の習慣化につなげることを目的に行ったものです。宇野美和会長は「本を読んでもらうことで、子どもたちの成長に役立ってくれると嬉しい」と話していました。

↓白熱したラリーの中で果敢にスマッシュを打ち込む児童たち



**美浜っ子がハツラツプレー！
第45回美浜町子ども会卓球大会**

12月7日に、第45回美浜町子ども会卓球大会が総合体育館で行われ、町内各地区から22チーム約150人が出場しました。子どもたちは、サーブや鋭いスマッシュ等、日頃の練習の成果を存分に発揮して熱戦を繰り広げながら、1球ごとにチームのみんで喜び、励まし合いながら試合を楽しんでいました。大会結果は次のとおりです。

	男子の部	女子の部	混合の部
優勝	けやき台 にわもりーず	東3区 スターキッズ	おぐらーず
準優勝	松郷男子 やきボンテ	東3区 スーパームーン	南市 レッド★スターズ ミックス
3位	久々子スマッシュ ブラザーズ	松郷女子みかん	河原市
	佐田坂尻 ファイターズ 2ndA	久々子ReiFuu	日向 チョコレート



**まちウォッチング
atching**

↓友だちの詩等の名曲を披露し、自らの体験談を話す中村さん



**音楽を通じて、差別のない世界に
人権のつとめ2025**

12月6日に、人権のつとめ2025がなびあすで開催され、人権作品等の展示や中村中さん(歌手・俳優)によるトーク&ライブが行われました。中村さんは、名曲を熱唱したほか、性的マイノリティについて自身の体験談等を基に話をされました。来場者らは、中村さんの心に響く美しい歌声や体験談等に聞き入っていました。

↓区内を歩き、早瀬の町並みや風景を撮影する参加者たち



**区内を散策し、地域の魅力をバシヤリ
美浜フォトウォーク in 早瀬**

12月7日に、美浜フォトウォーク in 早瀬～秘密にしたい、景色を探そう。～が早瀬区内で開催されました。この企画は、町のブランドホームページ掲載のエリアを巡り、直接魅力を感じてもらい体験型観光商品の開発と北前船日本遺産の観光活用を目的に町が開催したものです。参加者は、観光ガイドの説明を聞きながら区内を歩き、気になった風景等を撮影して魅力を共有していました。

↓常駐する保育士さんと一緒に遊ぶ子どもたち



**ママ・パパの育児負担の軽減に
託児所にこるーむがオープン**

10月6日に、赤ちゃんから小学生までの子どもを預けられる、託児所にこるーむが太田区にオープンしました。この施設は、子育て世帯の夫婦の負担を軽減し、心身のリフレッシュを図ってもらうことを目的として、株式会社Z-company(太田)が設立しました。山崎博一代表は「預かるだけでなく、育児イベントも企画しているので、気軽に利用してほしい」と話していました。

↓美しいハーモニーを奏でる美浜町女声コーラスアザレアの皆さん



**心に響くハーモニー
第32回WCA合唱祭**

11月16日に、第32回WCA合唱祭がなびあすで開催されました。この合唱祭は、嶺南で活動している合唱団が集い、1年間の練習の成果を披露することを目的として、若狭合唱協会が毎年開催しています。当日は、10団体の合唱団が美しいハーモニーを奏で、訪れた来場者約200人を魅了していました。



↑イテジク商品を販売するサンの子どもたち

秋晴れの清々しい天気の下、町を舞台に開かれた「シナプス+」のイベントでは、世代を超えて多くの挑戦とにぎわいが広がっていました。そんな会場内では、放課後教室サンの小中学生たちが元気に走り回っていました。商品開発プロジェクトの集大成として出店した子どもたちは、笑顔で声が枯れるほど接客し、売れ残りを知るとチームを超えて呼び込みも動き、販売時間の延長も自分たちで決めていました。商



↑「手形アート」イベントで交流する様子

品を褒められた時のキラッとした表情や、「最後までやり切った」という充実感が印象的で、子どもたちの確かな成長が感じられる瞬間でした。学びコミュニティKaiの高校生は「自分の考えが合っているか不安だった」と話していましたが、大人や仲間と相談しながら進める中で、「結果が全てではなく失敗も経験の一部」という考え方をもち、挑戦が苦意識に向き合う機会となりました。来場者との交流を通して「伝える」ことで徐々に自信が生まれ、多世代とのつながりも感じられた一日になりました。

みはまのまなび通信

vol.7

世代交わり
笑顔のまち

初めてまちのイベントに出店し、とても貴重な体験になりました。開業にあたり美浜での手触り感がなかったのですが、町の方々と直接関わる中で「応援しているよ」と声をかけていただき、受け入れられている実感を持ってました。コンテナでの出店は気軽に参加できることで挑戦のハードルも下がります。スタッフと初めて協働する機会にもなる一日になりました。



川嶋千紘さん (早瀬)

1ターんで美浜に移住。来年春、早瀬に「青会食堂」オープンに向けてチャレンジショップで準備中!

まちに触れる
大人の一步



↑コンテナハウスで初出店、町の方と交流する様子



毎年恒例の「ふるさと美浜元気フォーラム」は・・・1月21日に開催予定。美浜町の学校教育も見逃しません! 学校での取り組みにもぜひご注目下さい!



教育・まちづくりについて感じたことを教えてください。左記二次元コードからアンケートにご協力をお願いいたします。今後の参考とさせていただきます。

フリーコーナー
free space

今回キッチンカーで参加させてもらいました。町で活動するキッチンカーが増えて嬉しく思います。コンテナハウスのチャレンジショップや子どもたち発案の企画等、シナプス+のイベントがこれからも盛り上がることを期待しています。



遊 Viva 美浜の秋山かおりさん (雲谷)

町民の声
Voice

みはまシナプスプロジェクトって?



JR美浜駅～なびあすを舞台に、3つのテーマをもとに「美浜らしいにぎわい」を育てるプロジェクトが進行中。

- 1 学びと挑戦を育む "人づくり"
- 2 優しい回遊空間を創る "空間づくり"
- 3 共創の軸線を貫く "コンテンツづくり"



サンやKaiの活動も "人づくり"の一環。町の未来を、みんなで少しずつ形にしていきたいと思います。

住民税申告と所得税の確定申告は

2月16日から3月16日まで



確定申告書の作成・送信は 国税庁ホームページから!!

- ① 確定申告期間中、24時間いつでも利用できます
- ② 税務署に行く手間がかかりません
- ③ 自動計算されるので計算間違いがありません
- ④ データの保存ができ、いつでも作業を再開できます
- ⑤ 保存したデータは翌年以降も利用できます

- ステップ① 国税庁ホームページへアクセス
- ステップ② 申告書を作成
- ステップ③ e-Taxで送信して提出

印刷して郵送等で税務署へ提出することもできます。ぜひ、ご活用ください。

自宅等でもいつでも
確定申告

確定申告の期間中は、税務署・町役場が大変混雑します。税務署では、来署せずに自宅等から申告手続が完了する「e-Tax申告」を推進しています。お早めに電子送信や郵送による申告等をご検討ください。令和7年分の国税庁確定申告書等作成コーナーは、令和8年1月上旬公開予定です。

所得税の確定申告

敦賀税務署の申告会場の受付時間が変わります。

- 申告相談の受付期間は、令和8年2月16日から3月16日です。
- 受付時間
 - ・2月16日(月)～2月27日(金) 午前9時～午後0時30分(※)
 - ・3月2日(月)～3月16日(月) 午前9時～午後4時(※)

※閉庁日(土、日、祝日等)は、相談及び申告書の受け付けを行っておりません。

※申告会場への入場には、「入場整理券」が必要となりますので、国税庁LINE公式アカウントでのオンライン事前予約をご利用ください。会場において当日受付も行っておりますが、当日の相談枠に限りがあります。

✓ 確定申告書等作成コーナー
なら金額等を入力するだけで
自動計算で申告書が完成!

✓ マイナポータル連携で
給与、ふるさと納税、医療費等が
自動入力できる!

※ご利用には事前準備が必要です

スマホでも
できちゃう♪



↑国税庁LINE公式アカウントの友だち登録はこちら



住民税の申告

住民税の申告会場の混雑を避けるため、申告受付は事前予約制で実施します。詳細は広報みはま2月号や行政チャンネル、町ホームページ等でお知らせします。皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

「住民税の申告に関するお問い合わせ先」
町税務課(担当:藤田)
☎ 32-6702

確定申告で困ったら
ホームページを確認

確定申告に関する質問は、質問を入力いただければAIを活用した相談チャットボット「税務職員ふたば」が回答します。また、「タックスアンサー」でキーワード検索や税金の分野別等の方法で調べることができます。



↑国税ホームページチャットボット



↑国税ホームページタックスアンサー

「お問い合わせ先」
敦賀税務署
☎ 22-1010

お問い合わせ

放課後教室サン 学びコミュニティ Kai ☎ 050-5482-3342 (担当:和田)

まちづくり推進課 シナプスプロジェクト推進室 ☎ 32-6701 (担当:久木)



WEB



INSTAGRAM



YOUTUBE

美浜町役場
〒919-1192 美浜町郷市 25-25
☎ 0770-32-1111(代表)
FAX 0770-32-1115(代表)
HP <https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/>

お知らせ

冬季は水道管の凍結にご注意ください

冬季は、気温低下に伴う水道管の凍結により、水が出なくなったり、水道管が破裂して漏水したりする恐れがあります。

- 凍結を防ぐには
 - ・水道管に保温材を巻く
 - ・就寝前に蛇口を若干開けておく
- 万が一、凍結してしまったら
 - ・水道管にタオル等を被せ、ぬるま湯やドライヤーの温風で解凍する
 - ・水道管が破裂してしまったら
 - ・メーターボックス内の止水栓を止めて、町指定給水装置工事業者に修理を依頼する

問 町上下水道課(担当・丸山)
☎ 32-1341

積雪時の水道検針にご協力をお願いします

冬季は、積雪によって水道検針が困難になることがありますので、次の点にご協力をお願いします。

- ・水道メーター付近を除雪する
- ・水道メーターの上には物を置かない

問 町上下水道課(担当・丸山)
☎ 32-1341

消火栓・防火水槽の除雪にご協力をお願いします

冬の時期は、積雪により消火栓や防火水槽が埋まり、消火活動に支障を来す場合があります。

消防職員も除雪作業を行います。特に大雪の際には除雪作業が遅れる場合があります。

迅速な消火活動を実施するためにも、お近くの「消火栓」や「防火水槽」の除雪にご協力をお願いします。

また、積雪時に消火栓の位置を分かりやすくするために、消火栓の写真を表示できる二次元コードを、水利標識やホース格納箱等に貼り付けてありますので、除雪の際に活用してください。

問 美浜消防署
☎ 32-1190



みどりのスコップひとかき運動にご協力ください

県では「みどりのスコップひとかき運動」と題して、一部のバス停と交差点に緑色のスコップを設置しています。

みどりのスコップを見かけたら、待ち時間を利用して周辺の除雪にご協力をお願いします。

●実施期間

12月8日(月)～3月10日(火)

問 町住民環境課(担当・田村)
☎ 32-6703

はあとびあのお風呂再開のお知らせ

はあとびあのお風呂の改修工事により、11月10日からはあとびあのお風呂の利用を休止していましたが、該当箇所の工事が終了したため、令和8年1月6日から、お風呂の利用を再開します。

利用者の皆さまには、お風呂の休止に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

問 工事に関する事

町健康福祉課(担当・山野)
☎ 32-6704

施設の利用に関する事
町社会福祉協議会
☎ 32-3111

相続登記はお済みですか？

相続登記の促進を図ることを目的として、毎年2月を「相続登記はお済みですか月間」と定め、相談キャンペーンを実施しています。

民法・不動産登記法の一部改正により、これまで任意であった相続登記の申請が、令和6年4月1日から義務化され、不動産(土地・建物)を相続で取得したことを知った日から3年以内に、相続登記をすることが法律上の義務となっています。

本キャンペーン期間中、県内の各司法書士事務所で相続・遺言に関する相談を無料でお応えしますので、ぜひご利用ください。

●日時

2月1日(日)～28日(土)

●場所 県内各司法書士事務所

※下記の二次元コードから最寄りの司法書士事務所をご確認ください。



●その他

事前申し込みや予約は不要です。

問 県司法書士会
☎ 0776-43-0601

道路の除雪作業にご協力ください！

町では、10 cm以上の積雪(10 cm以上の積雪予想も含む)があった場合、通勤・通学や町民生活に支障が生じないように町道の除雪を行っています。安全で迅速な除雪作業に努めていきますが、町民の皆さまにも、次のことについてご理解とご協力をお願いします。



①路上に駐車しない
路上駐車は除雪作業の遅延や視界不良時の事故につながります。路上駐車をしないようご協力ください。

②除雪車に近寄らない
稼働中の除雪車は大変危険です。絶対に近寄らないでください。

③道路に雪を出さない
道路に雪を出すことは思わぬ事故の原因となります。

④出入口は各戸で除雪を
除雪作業により、戸口や車庫等の前に寄せられた雪の処理についてご協力ください。

◆除雪車が通った道路は、気象条件等により大変滑りやすくなる場合がありますので、通行時には十分注意してください。

※お問い合わせ先 ・町道の除雪について 町土木建築課(担当・川口/八田/采野) ☎32-6707

20歳になったら国民年金



国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を現役世代みんなで支えおうという考えで作られた仕組みです。20歳以上60歳未満の学生・農林漁業者・自営業者・無職の方等(国民年金第1号被保険者)は、国民年金に加入することが義務付けられています。

国民年金のポイント

- 将来の大きな支えになります
国が責任をもって運営するため安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。
- 年金は老後のためだけのものではありません
国民年金には、65歳から受け取りできる老齢年金のほか、若い方でも万が一のときに受け取り可能な「障害年金」や「遺族年金」があります。

「学生納付特例制度」と「納付猶予制度」

- 学生納付特例制度とは
学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。
対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上の課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。
- 納付猶予制度とは
学生でない50歳未満の方で、本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

※お問い合わせ先 日本年金機構敦賀年金事務所 ☎ 23-9904
町住民環境課(担当・吉田) ☎ 32-6703

美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和7年6月18日～)

募集・申請等

60歳代の再就職を応援します！

キャリア人材バンクに登録しませんか。あなたに合ったお仕事と一緒に探します。

●対象
離職後1年以内で60歳から70歳の人
※週10時間以上の勤務を希望する人

●利用料 無料

●申込方法
専用の申し込みフォームからお申し込みください。

↑申し込みはこちら

イベント・行事

令和8年美浜消防団 出初式を開催します

新春の恒例行事として、美浜消防団出初式を開催します。

●日時 1月11日(日)
午前10時～11時30分

●内容・場所
①一斉放水 午前10時～10時10分
(耳川橋南側耳川左岸)

福井事務所
0776-24-9025
32-6706

広域避難先の大野市の住民が美浜発電所等を見学

町では、万が一の原子力災害発生に備えて広域避難計画を策定し、地区ごとの避難先施設や避難方法を定めています。

この避難先施設については、災害発生時の状況(放射性物質放出時の風向きや道路状況等)により決定されますが、町では「大野市」と「おおい町」を避難先と指定し、有事の際に備えています。

10月24日と25日に行われた原子力総合防災訓練では、広域避難計画の避難手順等の確認を行うとともに、おおい町への避難を実施しました。

また、11月14日には、もう一つの避難先である大野市の住民を対象に、原子力災害時の広域避難や原子力発電所について理解を深めることを目的とした見学会を実施しました。



↑美浜原子力PRセンターで説明を受ける参加者

②分列行進 午前10時30分～10時40分
(はあとびあ東側町道)

③観閲式 午前10時50分～11時30分
(美浜消防署西側消防訓練場)

※悪天候の場合、はあとびあで実施

●その他
荒天または災害等の発生により、開催を中止する場合があります。

問 美浜消防署 32-1190

美浜町新春のつどいを開催します

輝かしい新春を迎えるにあたり、町内各界各層の皆さんが一堂に会し、交流を深め、本町の更なる飛躍と発展に寄与することを目的に、美浜町新春のつどいを開催します。

どなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

●日時 1月5日(月)
午後2時～3時

●場所 なびあす

●その他 平服でご参加ください。飲食の提供はありません。

問 町総務課(担当・上光) 32-6700

教室・講座・説明会等 子育て相談「きくで」を開催します

●日時 1月19日(月)
午前10時～11時30分

●場所 子ども・子育てサポートセンター

●対象 妊娠中・子育て中の保護者の方

●内容
公認心理士に、子育て中のさまざまな悩みについて、個別に相談ができます。相談中は、保育士が別室でお子様をお預かりします。

●参加費 無料

●その他
1月14日(水)までに電話もしくは申し込みフォームからお申し込みください。

問 二州健康福祉センター 地域保健課 22-3747

↑予約はこちら

美浜町子ども・子育てサポートセンターの催しをお知らせします

○育児講座「どんな絵本が好き？」

●日時 1月20日(火)
午前10時30分～11時15分

●対象 町内在住親子 10組程度

●申込 1月5日(月)から

●講師 松井由起子氏
(子育てマイスター・絵本セラピスト)

問 町子ども・子育てサポートセンター(担当・浜野) 32-0192

当日は、同市の区長連合会の方等10人が参加し、移動中のバス車内で町職員から、原子力防災や広域避難計画の概要について説明を受けるとともに、原子力災害時の広域避難等に関するDVDを視聴し、原子力災害時における対応について理解を深めました。

町到着後は、美浜発電所で発電所の概要や安全対策工事、1・2号機の廃止措置工事の状況等について説明を受け、原子力発電の必要性や新規制基準を踏まえた安全対策について認識を深めました。



↑美浜発電所を見学する参加者

その後、エネルギー環境教育体験館「きいばす」で町のエネルギー環境教育の取り組みや日常生活におけるエネルギー利用について学びました。

ひきこもり相談会を開催します

町では、ひきこもり等の悩みを相談できる相談会を開催します。悩み事やちょっとした話を聞いてほしいこと等がありましたら、ぜひこの場をご活用ください。

●日時
1月8日(木)
①午後1時30分～2時30分
②午後2時30分～3時30分
③午後6時30分～7時30分
④午後7時30分～8時30分

※①～④のいずれかをお選びください。
※③は事前予約のみの対応です。

●場所 はあとびあ

●相談方法
①来所による面談②電話
③オンライン

●対象 ①～④のいずれかをお選びください。

●費用 無料

●申込
予約が必要ですが、当日受付も可能です。

●その他
①②の時間帯は福井県ひきこもり支援コーディネーター、精神保健福祉士等、③④の時間帯は精神保健福祉士、保健師等が対応します。相談内容等の秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

問 町健康福祉課(担当・前) 32-6704

↑予約はこちら

見学会に参加された方からは、

- ・原子力発電所や広域避難計画等の説明を受け、再確認することができた
- ・電力の重要性を改めて考える良い機会になった
- ・広域避難において、大野市側での受け入れ体制等の周知や訓練をしていかなければいけない

等の感想がありました。

町では、今後も、万が一の原子力災害時に広域避難が必要となった場合に備え、住民避難が円滑に実施できるように、原子力防災等に関する理解促進を図っていきます。



↑きいばすでの見学の様子

○原子力防災について
美浜町地域防災計画・美浜町広域避難計画等は二次元コードからご確認ください。



詳細はこちら

美浜町地域あいあいポイント事業 P ポイント交換のお知らせ

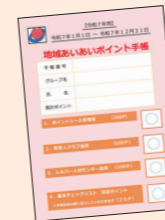
町では、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援する取り組みとして「美浜町地域あいあいポイント事業」を行っており、地域貢献活動や健康づくり活動に参加することで、手帳やアプリでポイントを貯めることができます。

活動に参加して貯まったポイントは、申請することで活動奨励品や商品券等に交換することができ、手帳のポイント交換の申請は、令和8年1月5日から始まります。貯めたポイントは、次年度に繰り越すことができないため、忘れずに申請をお願いします。

手帳のポイント交換申請期間

令和8年1月5日(月)～30日(金)

手帳のポイント交換の流れ



美浜町地域あいあいポイント手帳



ポイントに応じて交換できる活動奨励品

- ①ポイント交換申請書に記入
- ②必要事項を記入した申請書とポイント手帳を町健康福祉課へ提出してください。
- ③後日、交付決定通知書と引換券がお手元に届きますので、令和8年3月31日までに引換券で交換してください。

※貯まったポイントは次年度に繰り越して使用することができないため、ご注意ください。

手帳での参加

健康支援あいあいアプリのポイント交換は...

アプリでポイントを貯めた方は、1,000ポイントごとに、アプリ内で発行されるクーポン券に交換することができます。クーポン券の使用期限は令和8年3月31日までです。アプリでのポイント交換方法は町健康支援あいあいアプリ内の「メニュー」▶「よくある質問」からご覧ください。

アプリでの参加

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・南) ☎32-6704

冬も元気に遊ぼう！親子で楽しむ室内遊び

寒い冬でも子どもは元気いっぱい！外で遊ぶのが難しい日は、室内で親子一緒に楽しく発散できる遊びをしてみましよう。遊びを通じたコミュニケーションは、親子の信頼関係を深めるだけでなく、子どもの成長を支える大切な時間となります。興味や成長段階に合った遊びを通じて、親子でふれ合いながら楽しいひとときを過ごしましょう。

【室内遊びの例】

●新聞遊び

新聞紙を使ったシンプルな遊びは、エネルギーを発散させるだけでなく、指先を使うことで脳の発達を促します。

- ・新聞を細長くちぎったり、破ったりして、雪のように上から散らして遊びます。
- ・片付けも遊びの一部に！「よーいどん」で新聞紙を集める競争を楽しみましょう。
- ・集めた新聞紙を袋に入れて作ったボールで、キャッチやパンチ等の遊びをするのもおすすめです。



はいはい、よちよち歩きができるようになると広い場所で動くことを楽しめます。ぜひ子ども・子育てサポートセンターをご利用ください。

※お問い合わせ先 町子ども・子育てサポートセンター(担当・澤) ☎32-0192



●体を使ったふれあい遊び

体を使った遊びは、想像力やバランス感覚、姿勢維持能力等を向上させる効果があります。親子での楽しいふれあいが広がります。

- ・仰向けに寝た大人の膝に子どもを乗せて、飛行機のように手を広げて飛ぶ動作を楽しみます。
- ・子どもの脇の下を持ってロケットのように動かします。その後、ゆっくり回せば観覧車気分、左右に揺らせば振り子時計のような動作を楽しめます。
- ・子どもが乗ったバスタオルを大人2人で持ち、ハンモックのように左右に優しく揺らして遊びます。

昔話とよもやま (164)

美浜と軽井沢の交流拡大に向けて
～旧三笠ホテルリニューアル
オープン記念展示アンケートより～

10月1日に、長野県軽井沢町の国重要文化財旧三笠ホテルがリニューアルオープンを迎えました。町では、館内の一部をお借りして、開館記念展示「美浜と軽井沢の不思議な縁」創業者山本家のふるさと福井県美浜町」を10月1日から5日まで開催しました。本展では、創業者一族であり、町ゆかりの実業家山本家の功績と遺産を中心に同家のルーツである美浜町について紹介しました。

期間中は約1,200人の方に展示をご覧いただき、町に関するアンケート調査を実施しました。アンケートでは、居住地や町への来訪の有無、町や創業者山本家への

興味についての全7問を用意しました。回答いただいたのは280人で、町に来たことがある方は全体の23%でした。主に国名勝三方五湖やレインボウライン、水晶浜海水浴場に行ったことがあるという回答が多く、特に三方五湖の景観が美しかったという感想が多く寄せられ、自然豊かな町であると認識されていることが分かります。

ちなみに、国吉城の知名度はあまり高いとはいえませんが、「国吉城を知っている」、「難攻不落のお城」と複数の方から直接お声をもらうことができました。続日本百名城の選定や、大河ドラマ、歴史番組等の影響もあって、福井県以外でも歴史ファンには知られているようです。

回答者全体の内訳を見ると、長野県内をはじめ、東京、神奈川、埼玉と関東の新幹線沿線地域が多くを占め(71%)、展示会場で聞き取ったところ、県内においては、嶺北や敦賀に行ったことがあるという方が多い傾向でした。若狭地方には仕事で行ったという回答があったものの、観光目的で足を運んだ方

は少なく、北陸新幹線が延伸、または二次交通が充実されれば行きたいという意見が多く寄せられました。実際に本展を通じて、町や山本家に興味を持った方は95%にのぼり、今後町の施策次第で交流人口の増加が期待できます。

交通網の整備については、町に限らず広域的な課題として重視されていますが、今あるものを活用することも重要です。豊かな自然、その自然に育まれた文化や歴史、そして道の駅はまびよりやレイクセンター等のにぎわい拠点の周知と活用を通じて、今後さらに軽井沢町との文化的交流の活発に進めたいと思います。

(若狭国吉城歴史資料館)



↑展示会場の様子

文芸欄

俳句

みちくさ句会

春はじめ旅立つ孫の幸祈る

池田 恵子(早瀬)

新春の暦めぐりて意気高し

杉本 繁行(中寺)

初日の出先ず掌を合わす社かな

杉本 美智子(中寺)

猫抱いて欠伸もらふや日向ぼこ

山田 世志男(佐植)

掛け軸の鶴穩やかに年迎ふ

高木 キヨ子(新庄)

瑞雲に向けて翔びたつ鳩百羽

楠 朱朋(佐田)

慶弔

11/1～11/30受付分
(敬称略)

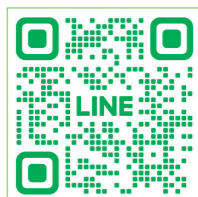
◎ご結婚

氏名	住所
田辺 憲虎 & (増井)友萌	坂尻
浅妻 拓哉 & (村端)菜央	金山

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
兼 康 義 人	佐 田	82	兼 康 信 子
森 川 智 子	金 山	95	森 川 一 彦
齋 藤 治 子	佐 柿	93	齋 藤 亮 一
鳥 井 綾 野	北 田	97	鳥 井 輝 美
澤 田 道 子	河原市	87	木 下 満 寿 美
石 丸 茂 夫	久々子	92	百 田 恵 子
熊 谷 勝 彦	山 上	95	熊 谷 正 道
大 野 シズエ	新 庄	97	大 野 清
田 邊 博 恵	佐 田	86	田 邊 礎 康
木 村 俊 夫	郷 市	85	山 本 恵
武 田 定	菅 浜	95	武 田 道 夫
大 崎 正	菅 浜	84	大 崎 正 義

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。



町公式 LINE の
友だち追加はこちら!



町の情報や応援クルーの
情報はこちら!

町人 まちびと さん

母子保健推進委員を10年以上
務め、保健衛生功労者知事表
彰を受賞された

原田 ひろみ 弘美 さん
(佐野)



*受賞された気持ちを教えてください。

母子保健推進員は、妊婦の方や赤ちゃんのいる家庭に出向き
悩み事や相談事を聞く等、町と連携しながら活動をしていま
す。長年推進員を務めさせていただいたことを、このように表
彰していただき、嬉しく思っております。



*今後の抱負をお聞かせください。

今年度から、再び母子保健推進員協議会の会長に就任させて
いただきました。各地区の母子保健推進員の皆さんと意見を交
わしながら一緒に、美浜町で子どもたちがすくすく育ってもらえ
るように、微力ながらさまざまな活動に携わってまいります。

人口の動き

人口総数	8,545人(- 5)		
男	4,234人(- 3)		
女	4,311人(- 2)		
世帯数	3,572世帯(- 3)		
出生	1人	死亡	15人
転入	15人	転出	6人
みはま応援クルー(※)	413人(+ 2)		
	令和7年12月1日現在※()は前月比		

※町が公認登録する「町外に住みながらも本町を
愛し、応援して下さる方」のこと。

HAPPY BIRTH DAY 
はじめてバースデー 
1月に満1歳を迎えるお子様を紹介します。

「はじめてバースデー」への掲載
案内は、誕生月の前々月に送付
しています。
ぜひ、ご応募ください。



広報クイズ

広報みはま1月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタ
カナでうめてください。小さい「っ」や「ゅ」、「・」、「が」、等も
一文字とします。「●」の文字を①番から順に並べると、ある言
葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①美浜○○○○●○○ in 早瀬
- ②○○○○○、○○●、まちが漕ぎ出す
- ③●○○○○ご挨拶
- ④60○○●○○再就職を応援します!
- ⑤ふるさと昔○○○●○○○

●応募方法

はがきに答え、住所、氏名(広報を読んだ感想も大
歓迎!)を書いて、「広報みはま広報クイズ」係(〒919-
1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。
メールで応募される方は、次のアドレスに送信して
ください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama
@town.fukui-mihama.lg.jp
【二次元コード】 右記



締め切りは、1月7日(水)(消印有効)です。正解者
の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。
●12月号の答え おおみそか(大晦日)
●応募者総数は9人で全員正解でした。当選の発表は、
記念品の発送をもってかえさせていただきます。

■くらしのカレンダー■

令和8年1月

1 (木)	元日	年末年始のごみ収集・受け入れは、 広報みはま12月号もしくは町ホームページ、行政チャンネル等をご確認ください。	17 (土)	
2 (金)			18 (日)	9:00～美浜町子ども会かるた大会(はあとびあ) 日向水中綱引き(日向)
3 (土)			19 (月)	
4 (日)			20 (火)	10:00～「こころの相談室」※障がい者(児)相談(はあとびあ) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～弁護士法律相談(はあとびあ)
5 (月)	官公庁仕事始め 14:00～美浜町新春のつどい(なびあす)		21 (水)	9:00～ふるさと美浜元気フォーラム(なびあす) 9:30～保育園開放(せせらぎ保育園) 古紙 (東地区)
6 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)	22 (木)		
7 (水)		23 (金)		
8 (木)	10:00～6～8か月児教室(はあとびあ) 13:30～ひきこもり相談会(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	24 (土)		
9 (金)	9:30～保育園開放(みずうみ保育園)	25 (日)	8:30～町民バスケットボール大会(総合体育館)	
10 (土)	10:00～結婚相談(はあとびあ)	26 (月)	9:30～保育園開放(あおなみ保育園)	
11 (日)	10:00～美浜消防団出初式(耳川左岸) 13:30～美浜町20歳のつどい(なびあす)	27 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)	
12 (月)	成人の日	28 (水)		
13 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)	29 (木)		
14 (水)	古紙 (北・南地区)	30 (金)		
15 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	31 (土)		
16 (金)		1月の納税 [納期限 2/2(月)] ※納付は口座振替が便利です。 町県民税(4期)、国民健康保険税(7期)		

- イベント ● 健康診査・検診 ● 子ども行事
- 行事の予定は、12月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- **古紙** は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
- ごみの休日受入は、第3日曜日以外の土日祝日(5月3日～5日、12月31日～1月3日を除く)の午前8時30分～正午です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

美浜町防災アプリのダウンロードをお願いします

美浜町防災アプリでは、防災情報や停電情報、おくやみ等の生活に関わる緊急情報等をお知らせしています。ぜひ、ダウンロードの上、ご利用ください。



こんにちは
 新年、明けましておめでとう申し上げます。今年も「広報みはま」をよろしく願っています。
 旧年中は、広報みはまの作成に、お忙しい中、取材等で多くの町民の皆さんにご協力をいただきました。改めて、感謝申し上げます。
 広報担当となつてから、取材等を通して、たくさんの方とお話をさせていただき、さまざまなことを知り、学ぶことができました。
 今年も皆さんのご協力をいただきながら、広報みはまを通じて、美浜の魅力や町民の皆さんの生活に直結する情報を正確にお知らせしていきます。皆さんの生活に役立つ冊子となるよう、引き続き作成に努めてまいりますので、日頃お忙しい方もぜひ読んでください。(集)